

カリキュラム(計画) 外国の子どもの学習サポーター養成講座 第2回

作成者 氏名：茂木 眞佐代

○養成・研修 / 基礎・専門・○支援員 (該当するものに○)

★参照したモデルプログラムNO. (報告書 pp. 207-244) 下線：内容・項目 (pp. 72-76)

日時・場所	2018年10月24日(水)9:30~12:00		於：磐田市立磐田中部小学校	
実施団体・機関	一般社団法人磐田国際交流協会			
研修・授業名	外国の子どもの学習サポーター養成講座 第2回			
受講者	・人数:6人 ・年齢層:20代(1)名 30-40代(3)名 50代()名 60歳以上(2)名 ・その他:			
演題・テーマ☆	サポートについて学ぼう①		☆研修内容 (報告書 pp. 72-76)	
到達目標	サポーターの実践を見て、具体的にイメージを持ち意識を高める。サポーターの役割を理解する。			
活動展開 (150分)		★	形態	留意点
導入：(20分) 1. 自己紹介 2. 学校の受入体制		④	講義	■通し受講者同士お互いを知る。 ■中部小にある支援体制。 ■サポーターの役割。 ■NIJI、在籍学級の見学での注意事項を説明。 ・NIJI：子どもに近寄ってよい ・在籍学級：教室の後ろから見学 ■見学の視点 ・NIJI と在籍学級で、それぞれサポーターはどのような支援を行っているか。 ・児童とサポーターの関わりはどうか。 ■支援する教室（支援対象）による違いに気づく。
展開： 3. 初期支援教室 NIJI、在籍学級での支援を見学し、児童生徒の姿やサポーターの実践について知る。(60分)		⑤	参観	
				参考資料
				第1回講座の磐田市の支援体制資料

<p>4. 学校組織の中での支援 (50分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者としての倫理・心得 ・サポーターの立場、役割 ・現場の担当者とのコミュニケーション <p>・学習参加のための支援</p> <p>まとめ：(10分)</p> <p>5. 外国人児童への支援について</p> <p>アンケート記入</p>	<p>⑤</p>	<p>講義 話し 合い</p>	<p>■サポーターとして押さえていたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務 ・担任の指示を受けて行うということ。 ・自分で困難を解決していけるようになるための支援であること。 ・先生との連携が大切なこと。 <p>■受講者の気づきを共有しながら、サポートの仕方やその効果について話し合い、サポーターの役割を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の学習参加上の困難 ・具体的な支援とその効果など <p>■サポーターについて思うことを発表する。</p>	<p>JSL サポートの手引き</p> <p>アンケート用紙 振り返りシート</p>
--	----------	-------------------------	--	---